

磨くその力によりて 瓦とも玉ともなるは 心なりけり

石川 理紀之助

石川理紀之助
明治から大正期の農業指導者。
秋田県種苗交換会の先覚者。
生涯を貧農救済に捧げ「老農」
あるいは「農聖」と敬称された。
「俺は農民だ。農民が農民を助け
ないで誰が助けると言うのだ」
農事改良を単なる個人の営みと
して行うのではなく、農民を広
く組織して集団的研究に高め、
自ら全国各地に赴き借金地獄に
あえぐ村を見事に再生させた。

神道知識への誘ひ「初宮詣」

昔は子供が大人になる前に病など
で亡くなることが多く、成長の節
目ごとに無事を祈り感謝する様々
な神事が営まれてきました。
初宮詣は生後一ヶ月を迎えた子供
(男児は二十一日・三十二日、女児は
三十三日目)を日々身近で生活を御
守りくださる地元の氏神様の元に
参詣する神事です。初宮詣により
氏神様の大きな力とご加護を受け
子供の健やかな成長をお守りいた
だき子供も氏子として認められる
こと(氏子入り)になります。

心とは磨き方しだいで
割れやすい瓦にも、
輝く宝石にもなるものである

